

別表第1（第5条関係）

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	交通指導隊費			
担 当 課 係 名	環境防災 課	交通防災 係	作成者	加藤 隆政
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画の ページ
	基本計画	交通安全の推進と交通環境の整備		
	主要施策	交通安全組織の育成と強化		90
予 算 費 目	一般 会計	2 款 総務費	1 項 総務管理	8 目 交通安全対策費
事 業 期 間	平成 17 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分	継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理			
根 拠 法 令 等	仙北市交通指導員に関する条例			
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民、各種行事・イベント等参加者及び観光客
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	交通事故の防止と啓発
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	交通安全期間中の事故防止活動（巡回広報、街頭指導） 各種行事・イベント時の事故防止活動（街頭指導、交通整理）

【事務事業の推移】

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
効果	活動指標	目標	37	37	37
		実績	35	34	34
		達成度	94.6%	91.9%	91.9%
	成果指標	目標	742	700	637
		実績	742	700	637
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)
	事業費（人件費を除く）(A)		7,754	7,474	7,247
	人 件 費 (B)	—	2,356	2,421	1,585
	職 員 数	—	0.30	0.30	0.20
	職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	7,925
	(A) + (B) 投下コスト		10,110	9,895	8,832
	財源内訳	国 庫 支 出 金			
		県 支 出 金			
		地 方 債			
		そ の 他			
		一 般 財 源	10,110	9,895	8,832
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	288,857	291,029	259,765
	市民1人当たりのコスト(円)	—	317	315	284

【事務事業の今までの成果】

各期ごとの交通安全運動期間中の交通事故防止活動や各種行事・イベント主催者からの要請により、交通事故防止活動を実施。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	全国の自治体に交通指導員が配置され、本市と同様の活動を行っている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	春の新入学シーズンや行事・イベント時の交通安全活動は定着しており、市民の交通安全意識の向上と交通事故の未然防止に寄せられる期待は大きい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	交通事故から「市民や観光客等の命を守る」という命題の達成には、県、警察、関係団体との連携が不可欠である。その意味で、市が率先して交通事故防止対策を進める必要があり、その手段として交通指導員が果たす役割は大きい。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	引き続き必要であると認められる事業ですが、指導隊の活動に触れる機会の少ないとみられる交通弱者（高齢者）に対する啓発活動のあり方について検討が必要と考えます。

一次評価診断図

